

このごろの雨

つげ幻象

水の秋大人総出で子をあやし
対岸の風を目で追ふ白露かな
秋乾き行人の歩へ浦の黙
日は山へもたれゆきたり鵲高音
周遊の船華美にしてそぞろ寒
深く挿すけふ二つ目の赤い羽根
夜の雨のあとかたもなき大花野
たつぷりと一日を生きて夕花野
実石榴やこのごろの雨くるほしく
乗り降りのかげに傾くバス秋思